

# 財務面での取り組み

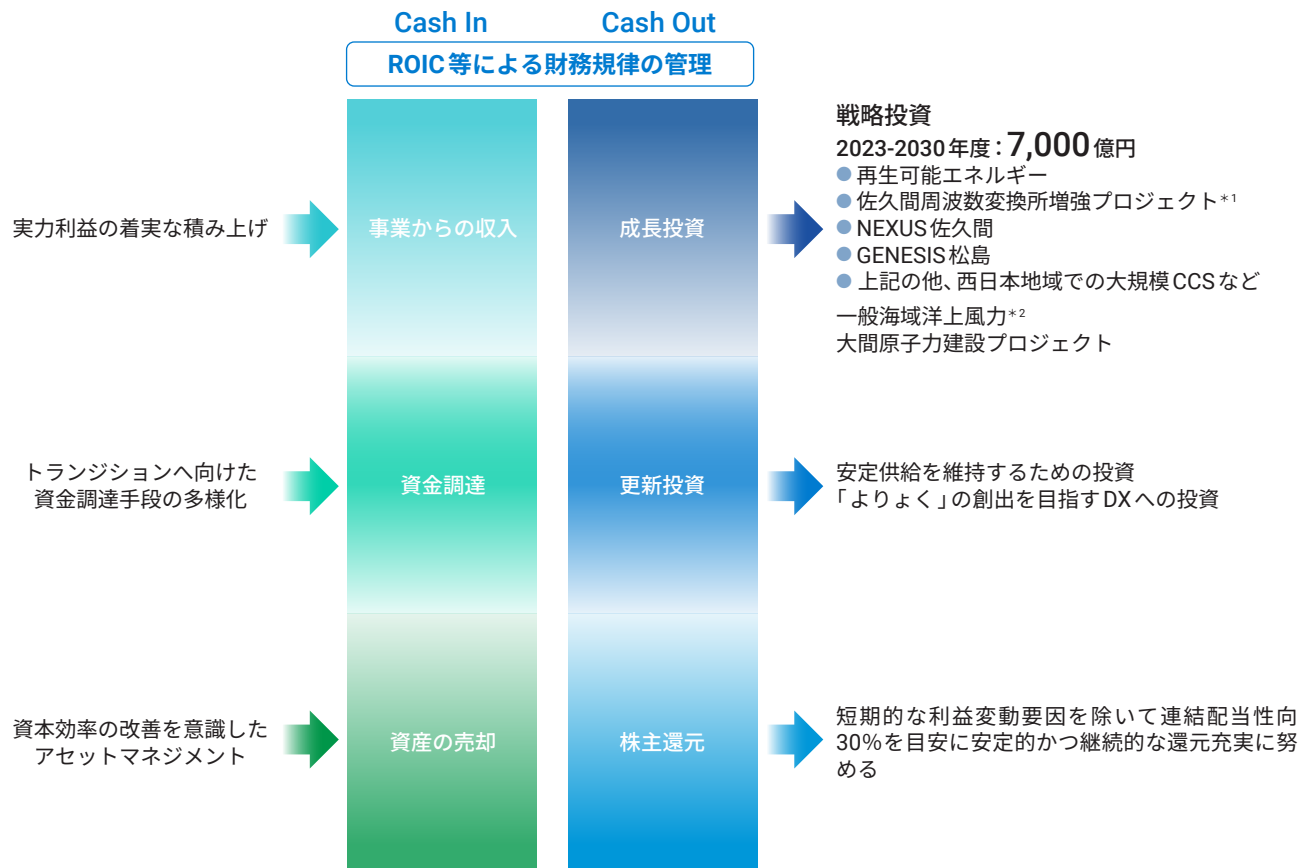
## キャピタルアロケーション

当社は、カーボンニュートラル社会の実現に貢献するためJ-POWER “BLUE MISSION 2050” の3つの取り組み（CO<sub>2</sub>フリー電源の拡大、電源のゼロエミッション化、電力ネットワーク）を進めています。これらの取り組みに向けて2030年度までに戦略投資として7,000億円を投じ、会社全体のトランジションを行います。

これらの成長投資に関しては、プロジェクトごとに厳格な審査を行い財務的なリターン確保を目指します。また、トランジション期間中の収支を下支えする火力発電所をはじめとした既設設備は、安定運転、市況のリスク管理、DXの導入によって、実力利益を着実に積み上げることで更なる利益貢献が期待できます。

資金調達面では、カーボンニュートラル社会の実現に向けて整備されつつある各種枠組みを活用し、資本コストの低減を図ります。加えて資産・権益は、アセットの特性を考慮して一部・全部売却並びに再投資を行い、資本効率を意識したポートフォリオ管理を実施していきます。

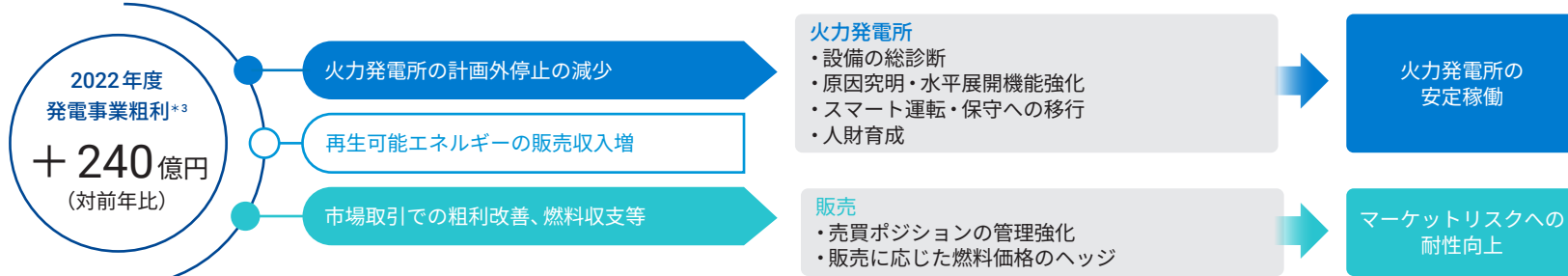
これらの収益性向上に向けた施策と事業ポートフォリオのトランジションを、現在導入検討中のROICで評価することにより、持続的な企業価値向上を図ります。



※上記図はキャピタルアロケーションの概念図であり、各項目の資金規模を示すものではありません。

## 実力利益の着実な積み上げ

2022年度は火力発電所の計画外停止低減の取り組み、小売事業者向け販売等のリスク管理強化の取り組みを加速させ、収益性の向上を図りました。

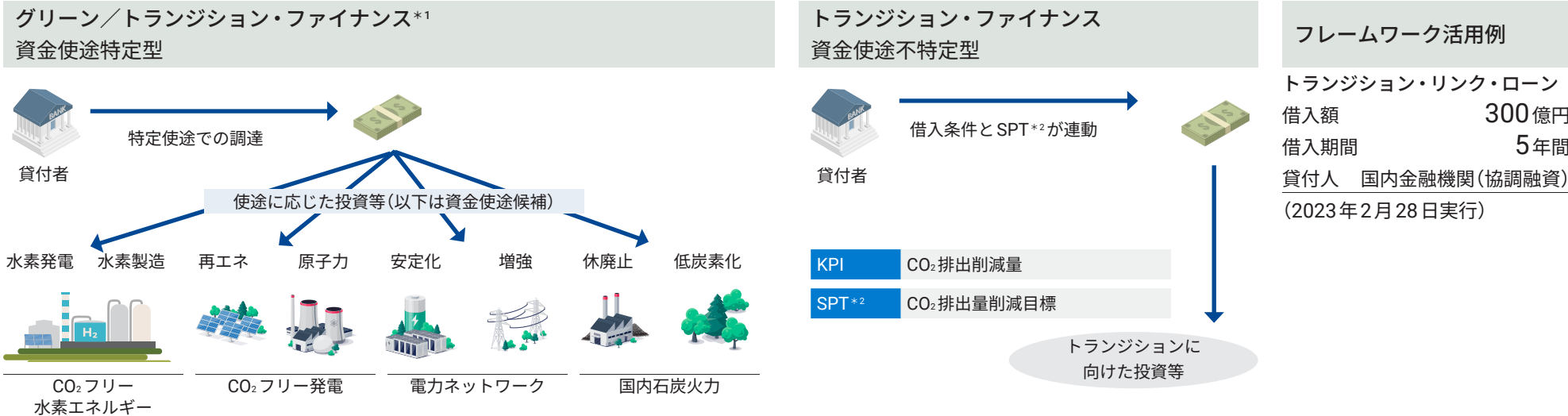


\*1 J-POWER 送变电の取り組みです。 \*2 今後入札に参加し落札できれば、戦略投資として計上します。 \*3 国内電気事業収益(水力・火力・風力・その他)から燃料費等を差し引いたもの

## 財務面での取り組み

### トランジションへ向けた資金調達手段の多様化

カーボンニュートラル社会へのトランジションに向けた資金調達の新たな枠組みとして、「グリーン／トランジション・ファイナンス・フレームワーク」を策定しました。この枠組みは、第三者評価機関であるDNVビジネス・アシュアランス・ジャパン(株)より、各種ファイナンス基準への適格性についての評価を受けています。



\*1 グリーンファイナンスは、グリーンプロジェクトとしての適格性が確認された場合に限る  
\*2 Sustainability Performance Targetの略で、KPIに関して達成すべき目標

### 資本効率の改善を意識したアセットマネジメント

資産の長期保有のみならず、資産の売却と売却資金を基にした新規プロジェクトへの再投資など適宜事業ポートフォリオの入れ替えを行い、資本効率の改善に取り組んでいます。また、資本効率を把握し改善策を講じていくため、ROIC導入を検討しています。

